

2022年5月13日

各 位

会 社 名 岡本硝子株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼社長 岡本 毅  
(コード番号 7746 東証スタンダード)  
問合せ先 財務経理本部分 IR 担当部長 風間 卓  
電 話 04-7137-3111

営業外収益の発生及び2022年3月期連結業績予想値と  
決算値との差異に関するお知らせ

当社は、2022年3月期連結会計年度において、営業外収益を計上するとともに、2021年11月12日に公表いたしました2022年3月期の業績予想と、本日公表の決算値に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 営業外収益(為替差益)の発生

2022年3月期連結会計年度において、為替差益29百万円を計上いたしました。これは主として米ドルに対して円安が進んだことにより外貨建ての売掛債権につき発生したものであります。

2. 2022年3月期通期連結業績予想値と決算値との差異

(2021年4月1日~2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,870	百万円 160	百万円 60	百万円 △180	円 銭 △7.73
今回発表実績 (B)	5,069	225	159	△87	△3.77
増 減 額 (B-A)	199	65	99	93	
増 減 率 (%)	4.1	40.6	165.0	—	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	4,409	△506	△684	△858	△36.89

差異の理由

教育用等のプロジェクターの需要回復及び国際物流の混乱を背景とした部品の早期確保の動きにより、反射鏡、フライアイレンズ、照明用ガラス製品、ガラスフリット等の販売が業績予想の想定よりも好調であったことから、前回発表予想比で売上高は199百万円上回り、営業利益は65百万円上回りました。これに加えて、2022年3月に入り米ドルに対して円安が進んだことで外貨建ての売掛債権に為替差益が発生し、前回発表予想比で経常利益は99百万円上回り、親会社株主に帰属する当期純利益は93百万円上回りました。

以 上